平成三十一度　明誠学院高校特進三類　国語課題問題　（一）

「考え続ける」に意味がある

仮に手品師が「自分の夢のために、君との約束を破った。許してくれ」と頭を下げたなら、男の子は彼を蔑(さげす)んだでしょうか。自分の夢のために子どもに謝罪する手品師の生き方から、学ぶべきものは見つからないでしょうか。既成の指導書に沿ったありきたりの授業では、子どもたちは大人が与えたい「美しい道徳」の限界を見抜いてしまいます。

ある私立の中高一貫校の先生がおもしろいことを話していました。「教育委員会は、なぜこの教材を道徳の副読本に採用したのか」をテーマにして道徳の授業を展開することがあるというのです。教育委員会や大人が何を子どもたちに期待しているかを、読み解こうとする逆転の発想ですが、生徒からは毎回活発な意見が出るそうです。

（一）手品師の話題に関して、ある私立中学では「教育委員会がこの教材を副教材にした理由」を議論するという。教育委員会が採用した理由は何か。百字以内で答えよ。

（二）また、生徒から活発な意見が出ると述べられているが、どのような意見が出されると予想するか。二つの意見を予想し、それぞれに理由を挙げ、二百字以内で述べよ。ただし、一文でなくてよい。